

環境報告書

2024年度版

【資料編】

春日井市

目 次

全体目標・環境目標1 環境学習・パートナーシップ		1
1 各世代に応じた環境教育・環境学習の充実		1
環境教育・環境学習の推進		1
環境情報の共有と発信		1
2 誰もが参加できる環境保全活動の充実		2
環境保全活動・協働取組みの推進		2
環境目標2 低炭素社会		3
1 低炭素社会の実現		3
省エネルギー活動の推進		3
低炭素まちづくりの推進		4
2 気候変動への適応		5
気候変動への適応の推進		5
環境目標3 自然環境		6
1 生物多様性の保全		6
多様な生き物の生息・生育環境の保全		6
生物多様性を支える人材の育成		6
2 緑の保全と創出		7
水や緑の保全		7
緑豊かなまちづくりの推進		7
環境目標4 循環型社会		8
1 循環型社会の実現		8
啓発等によるごみ減量の推進		8
4R の推進		9
2 廃棄物の適正処理		9
効率的なごみ処理による低コスト化		9
安全で安定的な処理施設の確保		10
災害廃棄物の適正処理		10
環境目標5 都市環境・生活環境		10
1 環境と人にやさしいまちづくり		10
快適な生活のための基盤整備		10
多様な交通手段が選択できるまちづくり		10
2 良好な生活環境の確保		10
公害防止・環境負荷の低減		10
上下水道の維持管理		12
合併処理浄化槽への転換促進		12

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
全体目標・環境目標 1 環境学習・パートナーシップ					①：全体目標・環境目標 1 ②～⑤：環境目標 2～5 温対：春日井市地球温暖化対策実行計画2023-2030 生物：春日井市生物多様性地域戦略						
1 各世代に応じた環境教育・環境学習の充実					新規取組み：						
環境教育・環境学習の推進											
			青空教室	バックル車を動かしながら分別について体験させることにより子どもたちのごみに対する興味関心を高め、子どもを通して家族にごみの分別等を周知	・小学校：37校 参加者：4年生 2,708人 ・公・私立保育園：42園 私立幼稚園：9園 参加者：約1,910人	①	②		④		温 対
			環境絵画コンクール	企業が主催する子どもたちの環境保全意識を高めるための「環境絵画コンクール」を後援し、特別賞（春日井市長賞）受賞作品をごみ収集車にラッピング ごみ収集車を青空教室にて使用することで、子どもたちに環境保全について啓発	春日井市長賞受賞作品テーマ「大好きな海の生き物達」 ・中央公園、東部市民センター、JR春日井駅自由通路にて受賞作品を展示 ・東部市民センターにて、春日井市長賞の表彰式を開催、ラッピング車両を展示	①	②	③	④	⑤	温 対 生 物
			環境教育・環境学習	各世代に応じた環境教育を充実させ、次世代を担う子ども、学生の環境意識の高揚を図り、自主的な活動を促進	・保育園：遊び、紙芝居等を通じた環境教育やリサイクルの推進を実施 ・中部大学：環境に関するイベント運営等への参加 ・東洋大学：連携講座「親子の理科教室～にぼしを解剖して環境問題について考えよう～」講師：東洋大学元教授 寺木秀一 場所：味美ふれあいセンター 参加者：15組30人（小学生とその保護者）	①	②	③	④		温 対 生 物
			公民館講座	廃材（古着や空き箱など）や間伐材を利用して、リサイクルや地球温暖化、環境保全について学ぶ	・中央公民館「古布（正絹）で作るうさぎのお雛さま」11/4、11/11、11/18、11/25、12/2 参加者：10人 ・鷹来公民館「小枝の色えんぴつと一緒に作ろう！」7/29 参加者：8組（16人） ・鷹来公民館「親子で巨大な紙コップタワーをつくらう！」11/25 参加者：4組（11人） ・坂下公民館「クラフトテープでおでかけバッグづくり」開催回数：8回 参加者：20人（延べ145人） ・坂下公民館「間伐材利用まつり～クラフトづくりと竹とんぼ飛ばし～」開催回数：1回 参加者：47人	①	②	③	④		温 対 生 物
			子ども環境アカデミー	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖化、自然環境保全、循環型社会等について総合的、横断的に学習する	受講者：20組41名 ・6/24「日本のカメと外国のカメ」講師：日本カメ自然誌研究会 代表 矢部 隆 ・8/26「エコパーティーようこそ」講師：環境省登録環境カウンセラー 樋口 祐子 ・9/30「親子おもしろ実験室」講師：市職員 ・12/9「マシンガンズ滝沢さんと考えるごみ問題」講師：お笑い芸人 マシンガンズ 滝沢秀一 ・1/13「地球温暖化と省エネ」講師：愛知県地球温暖化防止活動推進員 佐藤 文彦	①	②	③	④	⑤	温 対 生 物
			市民環境アカデミー	座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて、環境に関する幅広い専門知識と活動手法を学ぶ	受講者：48人（修了者：33人 全6回中5回以上の出席） ・9/29「エネルギーと環境問題」講師：名古屋学院大学経済学部教授 木船 久雄 ・10/26「地質学と地球温暖化」講師：名古屋経済大学犬山学術研究センター 客員教授 高橋 裕平 ・11/21「モータースポーツにおけるカーボンニュートラル」講師：株式会社日本レースプロモーション テクニカルアドバイザー 永井 洋治 ・12/9「マシンガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色～」講師：お笑い芸人「マシンガンズ」 滝沢 秀一 ・1/16「生物多様性は大事なの？～植物を求める旅から見たこと～」講師：名古屋大学博物館 准教授 西田 佐知子 ・2/15「海洋汚染の防止と国際社会」講師：中部大学国際関係学部国際学科 教授 加々美 康彦	①	②	③	④	⑤	温 対 生 物
			ゼロカーボン推進啓発講座（出前講座）	鈴与電力（株）と締結した「公共施設への電力供給とゼロカーボン推進に関する連携協定」に基づく、地球温暖化対策に対し自ら考え、実践できる次世代の人材育成を図る講座	(1)ゼロカーボン推進講座 小学校4回（4校延べ5クラス130人） 中学校3回（3校延べ22クラス712人） (2)カーボンフリー講座 開催日：12/2 場所：県営名古屋空港 参加者：19組38人	①	②		④		温 対
			総合学習（環境）	総合的な学習の時間を活用した環境学習の実施 ゴミ問題、リサイクル、地域清掃（公園・川）、水の学習、森の学習、地域の環境調査（川の水質や水生生物の調査、植生調査など）、ピオープでの飼育栽培活動、地球環境問題	実施学校数 ・小学校：38校（3年生：12校 4年生：35校 5年生：28校 6年生：11校） ・中学校：7校（1年生：6校 2年生：6校 3年生：7校）	①	②	③	④	⑤	温 対 生 物
			総合学習（文化）	田植え・稲刈り・もちつきなど体験を通しての「食文化」の学習、琴・太鼓・書などの伝統文化の学習、竹とんぼなど「伝承遊び」や縄跳びなどの体験学習、地域に伝わる昔話や伝説などの講話、地域の文化財の学習	実施学校数 ・小学校：35校（第3学年：28校 第4学年：21校 第5学年：19校 第6学年：23校） ・中学校：9校（第1学年：4校 第2学年：6校 第3学年：5校）	①		③			生 物
			わんぱくECOチャレンジ（中部大学連携事業）	学生が幼児に環境についてわかりやすく伝えることを目的とし、企画運営することで、幼児の環境に対する自覚と、学生の環境意識を高め、環境活動のリーダーを育成する	2023年度実績なし	①	②		④		温 対
環境情報の共有と発信											
			エコワールド	市民、事業者、市が協力して、地球温暖化対策、都市生活型公害などの様々な環境問題について啓発	・春日井まつり「エコワールド～みんなで進めよう環境まちづくり～」 開催日：10/21,22 参加者：延べ19,917人 内容：市民団体、事業者、市の13団体が環境啓発ブースを設置 ※市民環境アカデミー修了者がボランティアスタッフとして活動	①	②	③	④	⑤	温 対 生 物

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			かすがい環境賞	環境の保全に関し、学校や地域において積極的な環境保全活動の取組みを行っている市民又は団体を表彰	・個人：竹中 克、二宮 久夫、熊崎 邦子 ・団体：かすがいシェアリングネイチャーの会、みろく山麓の自然を守る会、西ふれ花ボウ、春日井市管工事業協同組合、株式会社ジューゼンタルプロダクツ	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			環境関連施設の見学	環境関連施設を見学し、市内のごみ処理の現状や身近な河川の水質調査、公共下水道の必要性など、環境問題について学ぶ	エコメッセ春日井 ・年間来館者数：6,597人 グリーンセンター ・一般（町内会等）：4団体 ・小中学校（学校関係）：23校 ・地方公共団体など：4団体 環境分析センター ・中学校：2校（参加者：6人） 高蔵寺浄化センター ・参加者：9人 南部浄化センター 参加者：2人	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			環境関連報告書の作成	環境基本計画の進捗状況など環境に関する報告書を作成し、市ホームページに掲載するなど、情報を発信	・環境報告書（2023年度版） ・春日井市ごみの現状（2023年度版） ・環境調査報告書（2023年版）	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			市民環境フォーラム	市民の環境活動への取組みの推進と相互の交流や環境情報の提供	市民環境フォーラム ・「かすがい環境賞」及び「環境絵画コンクール春日井市長賞」表彰式 ・市民団体活動発表：2団体 ・基調講演「マシンガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色～」 開催日：12/9 講師：お笑いコンビ「マシンガンズ」滝沢 秀一 場所：東部市民センター 参加者：270人	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			消費生活展	環境に関する取組みや最新の情報について展示	開催日：6/7～6/9 観覧者：5,500人 参加団体：24団体	①	②	③	④	⑤	生物 温対
2. 誰もが参加できる環境保全活動の充実											
環境保全活動・協働取組みの推進											
			AELネット	愛知県環境学習施設等連絡協議会（愛称：AEL（あえる）ネット）が実施する「AELネット環境学習スタンプラリー」に参加し、環境をテーマとした施設やイベントを啓発	・対象施設：エコメッセ春日井、少年自然の家、図書館、都市緑化植物園、グルッポふじとう ・対象イベント：夏休み子どもエコライフセミナー、夏休み自然環境学習会、ほかし作り講座、春日井まつり「エコワールド」、子ども環境アカデミー、春日井市民環境フォーラム、冬の自然環境学習会	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			エコファミリー支援事業	環境活動に関心のある家族を「エコファミリー」として登録し、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議が主催するイベントに参加することによりポイントを付与	登録数：91組317人	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			かすがいエコオフィス認定事業所の拡大と支援	環境に配慮した取組みを自主的かつ積極的に実施している事業所を「かすがいエコオフィス」として認定することにより、事業者の取組み意欲を高め、環境保全への取組みを促進するとともに、その取組みを広く市民等に周知することにより、市民の環境保全に対する意識の高揚を図る	・認定：8事業所 ・認定事業所：73事業所	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議	市民、事業者、行政が協働し、環境まちづくりを推進する組織として2002年12月設立 環境に関する議論の場、意見交換の場として、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議運営会議を設置	・会員数：49（市民：27人、市民団体：16団体（団体構成員549人）、事業者：6事業者） ・構成員数：582 ・運営会議：12回開催	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議による環境ブースでの啓発	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議が環境ブースを開設し、啓発	・見よう！聞こう！市民活動！ 内容：活動パネル展示 場所：東部市民センター 開催日：11/9～24 ・市民環境フォーラム 内容：活動パネル展示 場所：東部市民センター 開催日：12/9 参加者：270人	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議による自主事業	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議が環境に関するイベントを実施し、市民や市民団体の連携の輪を広げる	・6/10「ホタルの観察会」 場所：野草園（野外教育センター内） 参加者：35人 ・9/9「森とふれ合う間伐体験ツアー～水源林交流会～」 場所：岐阜県中津川市根ノ上湖付近 参加者：19人 ・10/21,10/22 春日井まつり「エコワールド」 場所：中央公園 参加者：19,917人 ・2/3「親子で楽しくエコ・クッキング」 場所：東部市民センター 参加者：15人	①	②	③	④	⑤	生物 温対
			環境教室	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、環境分析センターで、河川水の簡易な環境分析体験や参加型の科学実験・工作等を行い、環境への関心を高める	・親子おもしろ実験室 参加者 6月：11人、12月：16人 「川の水の簡易測定による環境分析体験」、「ペットボトルの中に雲を作ろう」、「世界に1つ、自分だけのスノードームを作ろう」、「液体窒素の実験」	①		③		⑤	生物 温対
			企業信用力向上事業助成金	市が、中小企業者のISO認証取得に伴う審査登録費用の一部を補助	助成金交付：1件	①	②				温対
			こどもエコクラブ	こどもエコクラブ（（公財）日本環境協会に登録）の活動を支援し、将来の環境まちづくりを担う子どもたちの環境に関する興味と関心を高め自主的な活動を促進	登録数：2団体 登録者数：計49人（内 子ども40人）	①					

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			市民活動支援センター（ささえ愛センター）の運営	NPO・市民団体の地域における情報提供や事業化に関する活動に対する支援	・ささえ愛センターまつり 開催日：4/16 参加団体：41団体 イベント：事業 来場者：3,300人 ・団体向けセミナー 4 講座 「市民交流会議企画セミナー」①11/19, ②1/27, ③3/9 「かすがい市民活動情報サイトサポート」 ・参加者：124人	①					
環境目標 2 低炭素社会											
1 低炭素社会の実現											
省エネルギー活動の推進											
			打ち水イベント	大暑から処暑にかけて節電や省エネ対策となる打ち水の実施を市民、事業者等へ呼びかけ賛同登録を募り、地球温暖化対策について考え行動するきっかけ作りとし、8月のエコライフDAYに併せて、市内一斉打ち水を実施	ゼロカーボンシティ かすがい 打ち水大作戦 ・実施期間：7/23～8/23 賛同登録者 ・市民：65人 ・事業者：69者 468人 ・公共施設：47施設 300人	①	②				温 対
			エコドライブの普及啓発	地球温暖化や大気汚染防止に効果のあるエコドライブを啓発	・エコドライブステッカーによる啓発 対象：市公用車	①	②				温 対
			エコライフセミナー	家庭でできる地球温暖化防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換について学ぶ	夏休み子どもエコライフセミナー「竹であそぼう！～水でつぼう作り～」 開催日：8/2 参加者：82人	①	②	③			温 対 生 物
			エコライフDAYの普及啓発	毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、市民生活や事業活動の中でできる地球温暖化対策や節電対策等の取組みを行うよう啓発	啓発チラシを配付 横断幕、懸垂幕を掲示、各種イベントでパネルを展示、庁内放送による周知、市公式SNSによる周知、環境カレンダーによる周知	①	②				温 対
			環境家計簿の活用促進	家庭から排出されるCO ₂ 排出量が記録できる環境家計簿を作成し、日常生活と地球温暖化が密接に関係していることを認識し、ライフスタイルを見直すきっかけとする	・「環境カレンダー」と合わせて140,000部作成し、広報紙と共に配布（転入者等に対し市内16施設の窓口で配布） ・市ホームページへ掲載	①	②				温 対
			クール＆ウォームシェアスポットの設置	家庭の冷暖房を控え、涼・暖をわかち合うシェアスポットに公共施設を登録	市内の21公共施設を「かすがいクールシェアスポット」として登録		②				温 対
			グリーン購入の推進	グリーン調達計画に基づき、率先して環境物品等の調達の推進を図るとともに、物品等納入業者に対し、アイドリングストップ等環境に配慮した取組みを行うよう協力要請	・市役所：各部署へグリーン調達計画の周知徹底 グリーン購入対象物品：74品目 全体の購入量における環境物品等の割合：80.2% ・事業者等へ市ホームページにて周知啓発		②	③	④		温 対 生 物
			次世代自動車の普及促進	地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れている等の次世代自動車の普及を促進	・春日井まつり「エコワールド」にて、日本郵便(株)が所有する電気自動車1台、電動バイク1台、愛知日産自動車(株)が所有する電気自動車1台を展示 ・次世代自動車導入台数：76台（電気自動車：4台、ハイブリッド車：7台、クリーンディーゼル車：65台）		②			⑤	温 対
			地域でとれた食材の学校給食での提供	商店や農家などと連携し、地域でとれた食材を学校給食に利用し、食材の地産地消を促進	2023年度に使用した愛知県産の食材 ・ふき 327kg ・たまねぎ 17,954kg ・サボテンコロッケ 26,267個 ・サボテン 243kg ・サボテンきしめん 123kg ・とうがん 1,202kg ・チンゲンサイ 868kg ・にんじん 620kg ・はくさい 2,227kg ・キャベツ 5,399kg ・ブロッコリー 1,029kg ・みつば 126kg	①	②	③			温 対 生 物
			低公害車導入	公用車において環境負荷の少ない低公害車を導入 ①愛知県指定の計算方法で計算した低公害車割合 ②実数で計算した低公害車割合	①公用車における低公害車の割合（換算後）：85% ②公用車における低公害車の導入割合（実数）：85%		②			⑤	温 対
			デコ活啓発事業	各種イベントにて、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を促す啓発活動を実施	市ホームページや各種イベントにて、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議等と連携し啓発 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・省エネ機器への買換え促進 ・電化製品の効率的な利用促進	①	②		④		温 対
			電気自動車（公用車）充電施設の設置	公用車における電気自動車の普及促進のため、充電施設を設置	・市役所（2013、2015年度）、グリーンセンター（2013年度）、清掃事業所（2018年度）に設置し、継続活用		②			⑤	温 対
			廃食用油の燃料化	バイオディーゼル燃料として利用するため、家庭から排出される廃食用油を回収	・回収量：約9,180ℓ ・回収場所：市役所始め18施設		②		④		温 対
			バイオ燃料の利用	家庭から排出される廃食用油を再生燃料化し、バイオディーゼル燃料として清掃事業所が使用している車両の一部に利用	利用量：6,940ℓ		②		④		温 対
			見える化ラベル	地球温暖化防止及び節電対策を目的に、照明等のエネルギー使用に伴うCO ₂ 排出量や電力使用量及びエネルギー使用削減による節約金額がひと目でわかる「見える化ラベル」を活用し啓発	・公共施設の該当か所に貼付 ・イベントや窓口等で見える化ラベルを配付		②				温 対
			レンタサイクル	放置自転車を活用した自転車無料で貸し出し、自動車の使用を抑制し、環境にやさしい交通手段を利用を促進	・設置場所：市内6か所 ・設置台数：31台 ・利用率：23.7%		②			⑤	温 対

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			低炭素まちづくりの推進								
			ESCO事業	平成23年度から開始した省エネルギーサービス契約により、総合体育館及び温水プールにおけるCO ₂ 排出量と、光熱水の使用量を削減	・削減量：4,717GJ ・ESCO事業：16,930千円		②				温 対
			LED照明の設置	公共施設にLED照明を設置し、低炭素化を促進	2023年度導入施設：市民病院始め77施設		②				温 対
			LED照明の設置促進（防犯灯設置事業費補助金）	犯罪防止や交通事故防止等の目的で、区・町内会・自治会等がLED型防犯灯を設置する事業に対し補助	LED197灯の設置に対し補助		②				温 対
			春日井市地球温暖化対策実行計画（2023-2030）	市域全体における温室効果ガスの排出抑制などの施策を総合的かつ計画的に推進 【削減目標】 2013年度比 2030年度46%	温室効果ガス排出量（2022年度） 1,641.8千t-CO ₂ 19.1%削減（2013年度比）	①	②	③	④	⑤	生 物 温 対
			春日井市役所地球温暖化対策行動指針2024-2030	各部局連携のもと、温室効果ガス排出量の抑制・削減に向けた職員の行動に関する取組みの継続や、公共施設における省エネ設備の導入などの取組みを推進 【削減目標】 エネルギー起源(施設) 2013年度比 2030年度 51% エネルギー起源(公用車) 2013年度比 2030年度 35% 非エネルギー起源 2022年度比 2030年度 8.7%	・季節の重点取組み項目を定め、市職員へ周知啓発 ・地球温暖化対策につながる情報を発信する温対だよりを特定の月に発行 ・市役所からの温室効果ガス排出量 エネルギー起源(施設)※ 22,255t-CO ₂ 31.3%削減（2013年度比） エネルギー起源(公用車) 955t-CO ₂ 9.2%増加（2013年度比） 非エネルギー起源 24,008t-CO ₂ 1%削減（2022年度比） ※電気の排出係数は調整後の値を使用。また、市がJ-クレジット制度を活用しカーボンオフセットを実施した量を含む	①	②	③	④	⑤	生 物 温 対
			高効率機器の率先導入	公共施設に高効率機器を導入し、低炭素化を促進	2023年度導入施設：南部ふれあいセンター始め10施設		②				温 対
			コージェネレーション設備の設置	公共施設にコージェネレーション設備を設置し、低炭素化を促進	市民病院、グリーンバス春日井にて運用		②				温 対
			再生可能エネルギーを利用した発電設備等の設置補助（事業者対象）	①再生可能エネルギーを利用した発電設備設置補助 ②事業の高度化又は効率化のための設備投資補助 ③生産性向上ICTを活用した設備の設置補助	①助成金交付：2件 ②助成金交付：40件 ③助成金交付：36件		②				温 対
			省エネ診断	公共施設においてエネルギー使用が効率よく運用されているかや、コスト削減が可能かを調査し、建物の低炭素化を促進	2023年度実績なし		②				温 対
			省エネリフォームの推進	公共施設において断熱窓、遮熱フィルム、遮熱塗装等を実施し、建物の低炭素化を促進	2023年度導入施設：清掃事業所始め3施設		②				温 対
			省エネルギー型水源ポンプの導入	水源ポンプの動力制御をインバータ化し、消費電力を削減	・町屋第6水源インバータ稼働 2019年度年間電力量（基準）：273,476kWh 2023年度年間電力量（実績）：215,863kWh 削減量 △57,613kWh（△21.07%） ・町屋第3水源インバータ稼働（2022年4月14日から） 2021年度年間電力量（基準）：272,858kWh 2023年度年間電力量（実績）：261,413kWh 削減量 △11,445kWh（△4.19%） ・知多第6水源インバータ稼働開始（2023年3月31日から） 2022年度年間電力量（基準）：315,410kWh 2023年度年間電力量（実績）：223,853kWh 削減量 △91,557kWh（△29.03%） ・3施設の各基準年からの削減量：△160,615kWh（△18.64%） ・町屋第2水源インバータ導入の契約締結（稼働は2024年度予定）		②				温 対
			省エネルギー行動の実施	春日井市役所地球温暖化対策行動指針2024-2030に基づき職員向けに省エネルギー行動の実践を啓発	・季節の重点取組み項目を定め、市職員へ周知啓発 ・地球温暖化対策につながる情報を発信する温対だよりを特定の月に発行		②				温 対
			省エネルギー設備投資事業助成金	事業者が実施する省エネルギーに資する設備投資等に対して助成金を交付	助成金交付：25件		②				温 対
			省エネルギー対策	施設の省エネルギー活動の効果的な推進を図るため、省エネルギー対策委員会を設置し、適正な施設設備の維持管理に努める	・省エネルギー対策活動の実施 ・節電対策の年間継続実施		②				温 対
			住宅用地球温暖化対策機器設置補助	①市内の住宅に太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付 ②市内の住宅に燃料電池・蓄電池・HEMS（家庭用エネルギー管理システム）・V2H（電気自動車等充電設備）を設置する者に対し、補助金を交付 ③市内の住宅に窓断熱の改修を行う者に対し、補助金を交付	①補助件数（太陽光・蓄電池・HEMS）：94件 総電力量：507.92kW 補助金額：13,689千円 ②燃料電池 補助件数：42件 補助金額：2,100千円 蓄電池 補助件数：132件 補助金額：7,920千円 HEMS 補助件数：67件 補助金額：670千円 V2H 補助件数：7件 補助金額：350千円 ③補助件数：37件 補助金額：2,110千円		②				温 対

環境目標		施策の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				水源地の自治体等との連携によるカーボンオフセット	Jクレジット制度を活用したカーボンオフセットの実施	木曽町より21t-CO ₂ 、木曽三川水源造成公社より850t-CO ₂ のクレジットを購入、市事務事業に伴い排出される温室効果ガスをオフセット		②	③			⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				設備運用の改善	上水道施設の電力使用量及び送水・配水量の実績を把握し、対前年度比較分析を行うことで、省エネルギーを考慮した施設運用に努める	・施設毎の電力使用量及び送配水量月報を発行 ・増減分析を行うことで施設適正運用を検討 年間電力量 6,879,917kWh：前年度比172,995kWh（2.45%）削減		②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	</

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			熱中症啓発川柳コンテストの実施	熱中症予防対策を行う市民の意識を醸成するため、熱中症を題材とする川柳を募集し、市民が投票で上位作品を決定する過程を通じてその浸透を図るもの	川柳応募数 ・小学生の部：377句 ・中学生の部：181句 ・一般の部：79句 →各部門毎に投票対象作品10作品への投票を専用ホームページ上で実施し、上位作品の作者に対し記念品を贈呈	①	②				温 対
			熱中症に関する情報提供、注意喚起	メールマガジン登録者に対し、熱中症の注意喚起メールを送信する他、市ホームページ等による情報提供	・安全安心情報ネットワーク登録者数：23,567件（2023年度末現在） ・安全安心情報ネットワークメール：5回	①	②				温 対
			熱中症予防講座	熱中症の概要と予防策を説明し、市民の意識向上を図る	・健康づくり出前講座開催：2回	①	②				温 対
			熱中症予防対策ポスター及びリーフレットの配布	熱中症予防に関するポスターの掲示及びリーフレットの配布等により、予防対策等を注意喚起	・消防署及び各出張所において6～9月に実施 ・6月～9月の期間において、保育園や幼稚園、小中学校、子育て支援センター、総合保健医療センター他各公共施設等に配付 ・JR春日井駅前デジタルサイネージ、市民課前ディスプレイ、庁舎エレベーター内サイネージを用いて注意喚起 ・安全安心情報メールによる暑さ指数等の配信 ※これらすべて川柳募集の告知も含む	①	②				温 対
			排水路の整備	浸水が予想される地区を優先に排水路を整備	坂下地区排水路整備 L=212m 牛山地区排水路整備 L=169m		②			⑤	温 対
			避難情報等に関する情報提供、注意喚起	洪水等により避難が必要となった場合に、市ホームページ、緊急速報メール、広報車等様々な手段を用いて避難情報を提供	2023年度該当事業なし	①	②				温 対
			緑のカーテンの推進	地球温暖化対策や節電対策、ヒートアイランド対策として有効な緑のカーテンについて周知・啓発	・育成講座：3回開催（坂下公民館、西部ふれあいセンター、南部ふれあいセンター） 参加者：計35人 ・パンフレット：育成講座の教材として使用する他、環境啓発イベント等で配付 ・緑のカーテンの設置 公共施設：74施設 かすがいエコオフィス：6施設	①	②	③			温 対 生 物

環境目標 3 自然環境

1 生物多様性の保全

多様な生き物の生息・生育環境の保全

環境配慮型の土地地区画整理事業・再開発の促進	環境アセスメントの実施により環境に配慮した計画の促進	環境アセスメント事後調査（熊野桜佐土地地区画整理事業 2011～2018年度）報告書をホームページに公表している				③		⑤		生 物
外来種の放逐等の規制	春日井市自然環境の保全を推進する条例に基づき、外来種の放逐等の禁止を啓発	・外来生物法に指定された種の案内を市ホームページに掲載 ・外来種に関するパンフレットを窓口などで配布	①		③					生 物
希少野生動植物種の保護	春日井市自然環境の保全を推進する条例に基づき、指定希少野生動植物種の指定による保護	2012年1月10日 市指定希少野生動植物種8種を指定 ・植物：シデコブシ、ササユリ、ヒメカンアオイ ・動物：カヤネズミ、ヨタカ、ナゴヤダルマガエル、ギフチョウ、ヒメタイコウチ				③				生 物
自然環境保全地区・自然環境ふれあい地区の指定	春日井市自然環境の保全を推進する条例に基づき、優れた自然環境である保全地区や身近な自然環境であるふれあい地区を指定	候補地について検討				③				生 物

生物多様性を支える人材の育成

稲作体験	稲作体験を通じて、地域農業への理解を深める場を提供	受講者：20組	①		③					生 物
エコファーマー	「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、化学肥料や農薬の使用を抑えたエコファーマーを推進・啓発	エコファーマー：2人	①		③					生 物
かすがい農業塾	野菜の栽培について講義や実習を行い、農業に関する知識や技術を習得した新たな農業の担い手を養成	受講者：9名	①	②	③					温 対 生 物
環境リーダーの育成	自然環境の保全を推進するリーダーとしての資質向上を図る	自然環境保全活動推進員ステップアップ講座 開催回数：8回 ・「ギフチョウの成体数調査」場所：弥勒山、道樹山、大谷山、参加人数：全5日間 延べ28人 ・「春日井の蝶の生態と種類を学ぶ」場所：ささえ愛センター、参加人数：全2日間 延べ22人 ・「ツバメ調査」場所：6小学校区、参加人数：全6日間 延べ40人 ・「竹林の整備」場所：潮見坂平和公園、参加人数：延べ3日間 38人 ・「ネイチャーゲーム」場所：ささえ愛センター 参加人数：12人 ・「不思議な蜘蛛の世界を覗いてみよう」場所：少年自然の家、参加人数：13人 ・「地質を学ぶ」場所：少年自然の家、参加人数：14人 ・「施設見学」場所：高蔵寺浄化センター 参加人数：12人	①		③					生 物

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			自然環境学習会	自然に興味を持つ小学生とその保護者を対象とし、自然とふれあう機会を提供し、自然環境の保全について学習する	・夏休み自然環境学習会「自然観察とレクリエーション」 場所：高森山公園、参加者：12人 ・夏休み自然環境学習会「水を用いた実験と工作」 場所：落合公園、参加者：26人 ・冬の自然環境学習会「自然観察と工作」 場所：潮見坂平和公園、参加者：22人	①		③			生物
			自然環境保全活動推進員の設置	春日井市自然環境の保全を推進する条例の規定に基づき、自然環境保全に関する知識の普及や推進のため、自然環境保全活動推進員を設置	・市民から公募した自然環境保全活動推進員を2年の任期で委嘱：23人（2023年度当初）	①		③			生物
			少年自然の家活動資料作成	東部丘陵の自然の様々な側面から環境を考えるプログラムを、市内小学校の野外学習のプログラムとして提供	市内小学校39校に配付	①		③			生物
			少年自然の家周辺の自然学習	幅広い世代を対象とし、地域の自然を生かした環境保全や生物多様性等について学ぶ	12イベント(延1,235人参加) ・わくわく自然ランド参加者：154人 ・あそびむくらぶ参加者：244人 ・たき火くらぶ：144人 ・自然学校「里山木こり体験」：63人 ・自然学校「カヌーに乗って湿地体験」：15人 ・冬のファミリーキャンプ参加者：34人 ・築水池カヌー体験参加者：61人 ・野外活動・自然体験指導者講座参加者：61人 ・大人の里山歩き参加者：82人 ・地域ミライ防災×キャンプ参加者：17人 ・里山体験田んぼと森の学校参加者：262人 ・ツキイチ里山歩き隊参加者：98人 (公財)春日井市スポーツ・ふれあい財団自主事業 12イベント(延5,379人参加) ・サマーキャンプ2023参加者：31人 ・自然体験プログラム（夏季・冬季）参加者：823人 ・野外学習夜間プログラム参加者：707人 ・環境教育プログラム参加者：977人 ・ネイチャーガイド×トレッキング参加者：2,364人 ・出張自然講座参加者：204人 ・初めて挑戦アウトドア参加者：110人 ・全力！虫とり×キャンプ参加者：23人 ・きらめきキャンプ「はたる&カヌー」：24人 ・全力！Nスポーツ×キャンプ：22人 ・ハチミツしほり体験：36人 ・自然大好き！野あそびくらぶ：58人	①		③			生物
			水生生物の調査	河川に生息する生物を採取し、水質の状態を判定する水生生物調査を実施し、河川愛護や水質浄化などへの意識向上を図る	2023年度実績なし	①		③	⑤		生物
			ふれあい農業公園	栽培や収穫体験などができる農業公園として、子どもから高齢者まで幅広い世代に、野菜の栽培などを通じた交流や生きがいづくりを提供	・ビギナーファーム（収穫体験農園）参加者：2,232人 ・アクティブファーム（農業体験農園）96区画 ・フリーファーム（貸し農園）117区画	①	②	③		温 対	生物
2 緑の保全と創出											
水や緑の保全											
			春日井農業振興地域整備計画	農用地利用計画による農用地区域の設定	・農業振興地域：2,133ha ・農用地区域：223ha			③	⑤		生物
			指定文化財の保護・保存に対する補助	指定文化財の維持保存のため、史跡等環境整備や火災報知機整備の助成	・史跡環境整備：内々神社庭園始め4件整備済 ・火災報知機整備：密蔵院多宝塔始め5件整備済		②	③		温 対	生物
			地域間の連携	地域間の連携を図り、環境保全行政の円滑な推進及び河川水質以上発生時に流出防止対策、発生源調査、復旧対策を推進	・尾張東部環境保全連絡協議会 総会：1回、事務連絡会議：4回（うち書面開催1回） ・庄内川水系水質保全連絡協議会 委員会・幹事会、水質事故現地対策訓練、水質事故通報連絡：5件 ・水・地盤環境行政に係る愛知県・政令市連絡会議：連絡会議（一宮市）、河川水質異常等に係る調査：8件	①		③	⑤		生物
			認定農業者制度	農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の認定	認定：19件（更新：4件）			③			生物
			農業農村多面的機能支払交付金事業	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、活動組織が行う農業資源の保全等の地域活動を支援	・美しい玉野を守る会：19ha ・下市場営農組合：6ha ・神屋水利組合：5ha		②	③	⑤	温 対	生物
			保存樹等指定	保存樹・保存生垣・保存樹林の現地調査	・保存樹：452本 ・保存生垣：18件（984.71m） ・保存樹林：5ヶ所（46.955m2） ・2月に現地調査を実施		②	③		温 対	生物
緑豊かなまちづくりの推進											
			屋上緑化	屋上緑化により、建物の遮熱対策を推進	屋上庭園スカイフォーラムに設置済み		②	③		温 対	生物

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			街路樹の整備・管理	市内の街路、緑地、緑道の樹木等の整備・維持管理による緑化の推進	市内の街路:208路線、6 緑地、4 緑道		②	③	⑤	温 対	生 物
			公園等の維持管理委託	公園等の草刈、遊具点検等を地元町内会等に維持管理委託	388公園などを地元町内会等団体で管理		②	③	⑤	温 対	生 物
			採石場の立入調査	採石場への立入調査を実施し、植生回復を指導	3月に市内3か所で実施			③	⑤		生 物
			植栽工事	沿道における大気汚染、騒音・振動対策として、植樹帯を設置	2023年度該当事業なし	①		③	⑤		生 物
			住民参加による公園整備	公園の計画・整備・管理段階での住民参加を推進	2023年度該当事業なし	①	②	③	⑤	温 対	生 物
			ふれあい緑道の整備	二子山公園、朝宮公園、落合公園、潮見坂平和公園を八田川・生地川、ふれあい緑道で結んだ緑のネットワークを整備	2023年度該当事業なし		②	③	⑤	温 対	生 物
			みどりの相談窓口	緑の相談員が病害虫・土壌障害の対策、植物などに対する相談や出前診断を実施し、家庭の緑化を推進	・相談：487件 ・出前：6件		②	③		温 対	生 物
			緑化協定の締結	条例に基づき、開発行為等において一定の規模以上のものは、緑化計画書の提出を求め緑化協定を締結	締結：1件（倉庫・事業所）		②	③	⑤	温 対	生 物
			緑化指導	開発行為等において一定の規模以上のものは、樹木の植栽を指導	指導：37件		②	③	⑤	温 対	生 物
			緑化推進協議会	緑化に対する市民意識の高揚を図り、市民と行政が一体となって、緑と花のうるおいのあるまちづくりを推進	・菊づくり講習会 3回 受講者：32名 ・草花苗配布 ・花のまちづくりコンクール 参加団体：85団体	①	②	③		温 対	生 物
			緑化に関する講習会・展示会	緑化に関する講習会・展示会による緑化意識の高揚	・講習会 91回 参加者：1,185人 ・展示会 125日 参加者：42,952人	①	②	③		温 対	生 物
			緑化ボランティア活動の推進（緑の奨励金）	市民団体が主体的に実施する地域の緑化ボランティア活動に対し、奨励金を助成し、地域の緑化を推進	奨励金交付：3団体	①	②	③		温 対	生 物
			緑地の設置助成	市内に新増設された事業所が行う緑地の設置の投資に対して助成金を交付し、民有地の緑化を推進	助成金交付：3件	①	②	③		温 対	生 物

環境目標 4 循環型社会

1 循環型社会の実現											
			啓発等によるごみ減量の推進								
			エコクッキング	買い物から料理、片付けまでのエコクッキングを通して、ごみの減量や環境について学び、家庭での取り組みの定着を図る	・「親子で楽しくエコ・クッキング教室」（かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議主催） 場所：東部市民センター 開催日：2/3 参加者：15人 ・食品ごみ削減講座：1回	①	②		④	温 対	
			エコ先案内人	親子を対象として、「エコ紙芝居」「絵本」「エコかるた」を利用して、ごみの減量、資源の再利用、3R等について学習	・講師：1人 助手：1人 開催回数：12回 参加者：219人	①	②		④	温 対	
			エコメッセフェスタ	施設見学やフリーマーケット、様々な体験学習を通じて、環境や3Rを啓発	2023年度実績なし（クリーンセンター第2工場改修工事のため）	①	②		④	温 対	
			環境カレンダー	地区ごとの資源・ごみの収集日を掲載し、資源・ごみの適正な分別・排出を啓発	・「環境カレンダー」を140,000部作成し、広報紙と共に配布（転入者等に対し市内16施設の窓口で配布） ・市ホームページへ掲載	①	②		④	温 対	
			ごみ分別アプリ「さんあへる」	ごみや資源に関する情報をどこでも手軽に取得できるスマートフォン用アプリを配信	・登録者数：41,164人（令和6年3月末） ・年間アクセス数：883,007件	①	②		④	温 対	
			資源・ごみの出し便利帳	ごみ出しマナーと資源・ごみの一覧を掲載し、資源・ごみの適正な分別・排出を啓発	・転入者等に対し市民課ほか市内16施設の窓口で配布 ・市ホームページへ掲載	①	②		④	温 対	
			社会科副読本「くらしとごみ」	ごみの減量と分別意識を養うための社会科教材を小学校教師による社会科研究会と共同で作成し、配布	・作成：3,200部 ・配布：小学校37校（対象：4年生）	①	②	③	④	温 対	生 物
			事業者向けパンフレット	ごみの減量と資源分別の啓発を目的とした事業者向けパンフレットの作成・配付	「事業者の皆さまへ」をごみ減量推進課窓口等で随時配布		②		④	温 対	

環境 目標	施策 の柱	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
		4 Rの推進								
		おもちゃの病院と不 用なおもちゃ交換 市	壊れたおもちゃの修理と不用になったおもちゃの交換会を通し て、リユース（再利用）を促進	・開催回数：12回 ・参加者：420人	①	②		④	温 対	
		春日井市ごみ減 量3R推進事業所 認定制度	3 Rに積極的に取組んでいる市内の事業所を3 R推進事業 所として認定し、ごみ減量等を促進	認定事業所： 9 事業所		②		④	温 対	
		家庭用生ごみ処 理機の設置補助	家庭用生ごみ処理機を設置する者に対し補助金を交付し、 生ごみの減量及び資源化を促進	・補助台数：104台 ・補助金額：1,214,600円		②		④	温 対	
		給食残渣の飼料 化	給食残渣を養豚業者が回収し、豚の飼料として有効活用 化	年間残渣量及び回収量：166,010kg		②		④	温 対	
		蛍光管の拠点回 収	家庭から出る蛍光管（水銀使用製品）を公共施設において 拠点回収し、適正に処理	・回収拠点：エコメッセ春日井始め公共施設15か所、電機店10か所 ・回収：4,731本		②		④	温 対	
		建設副産物のリ サイクル	建設副産物（アスファルト塊、コンクリート塊など）のリサイクル	・アスファルト塊：26,554.18 t ・コンクリート塊：5,288.44 t ・発生土：25,426.96㎡ ・木くず:44t ・建設発生材：70.15 t ・繊維くず：3.0 t ・金属くず：26.27 t		②		④	温 対	
		下水汚泥の活用	下水汚泥を燃料化及びセメント原料として有効活用	・脱水ケーキ搬出量：16,374.75 t ・有効利用：100% 【内訳】 ・燃料化：10,143.94 t セメント原料：1,442.25 t 堆肥化：4,788.56 t		②		④	温 対	
		再利用品の展示・ 販売	粗大ごみのなかでまだ使えそうな家具類や放置自転車を修理 し、抽選・販売するなど、リユース（再利用）を推進	開催回数：6回 参加者：1,113人 家具類：68点 自転車：76点		②		④	温 対	
		資源回収団体奨 励金事業	資源回収登録団体に奨励金を交付し、リサイクルを推進	・申請団体件数：89団体 ・奨励金額：3,515千円		②		④	温 対	
		資源分別収集	新聞・雑誌・雑誌がみ・ダンボール・牛乳パック類・古着・飲料缶・ ガラスびん・ペットボトル・プラ容器・金属類・廃食用油を資源 分別収集	・総回収量：9,997t		②		④	温 対	
		指定ごみ袋制度	家庭から出る資源・ごみの分別の徹底と排出マナーの向上に 加え、ごみ収集車やごみ処理施設の火災を防ぐため、指定袋 制度を導入	・可燃・不燃：12社 ・プラスチック製容器包装： 7 社 ・金属類（発火性危険物）： 5 社		②		④	温 対	
		修繕工事副産物 のリサイクル及び指 導	修繕工事で発生した金属くずのリサイクル	金属くず：170kg		②		④	温 対	
		焼却灰の活用	焼却灰をセメント原料として有効活用	焼却灰：2,978.53t		②		④	温 対	
		剪定枝のチップ化	維持管理を行っている街路樹や公園内樹木の剪定枝をチップ 化し、リサイクル	チップ量：90.37t		②		④	温 対	
		生ごみ堆肥化講 座	生ごみ堆肥化について学び、資源化を促進	開催回数： 5 回 参加者：52人	①	②		④	温 対	
		廃食用油の活用	①給食調理時に排出される廃食用油を有効利用(家畜用飼 料添加物、石鹸等) ②給食物資の包装箱等をリサイクル	①食用油の年間排出合計：22,590L ②ダンボール等の年間排出合計：65,530kg		②		④	温 対	
		リサイクル講座	ごみの減量や資源の再利用等について学び、リサイクル等を推 進	開催回数：57回 参加者：743人	①	②		④	温 対	
		リサイクルプラザ情 報	家庭での不用品を登録し、必要な人に紹介し、リユース（再 利用）を推進	・登録：47件 ・成立：12組		②		④	温 対	
2 廃棄物の適正処理										
効率的なごみ処理による低コスト化										
		クリーンセンター搬 入事業系一般廃 棄物検査	クリーンセンターに搬入される事業系一般廃棄物の種類及び 違法なごみの有無について検査	・清掃3課ごみ合同検査：2回実施（5月、9月） ・尾張部清掃工場連絡会議合同ごみ検査：1回実施（11月）				④		
		ごみ処理施設の効 率的運用	第1工場蒸気タービン発電はFIT導入時の取り決めにより制 限があったため、蒸気を最大限使用できるように運用	第1工場 ・余熱利用熱量：84,560.2 GJ ・場内利用：69,548.6 GJ ・場外利用：0 GJ				④		
		不法投棄の監視	不法投棄を未然に防止し、快適な住環境を確保するため、自 主防犯団体と市による合同パトロールの実施や監視カメラを運 用	・合同パトロール実施箇所：5地区 ・監視カメラ：15台				④ ⑤		

環境目標	施策の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等							
			不法投棄に伴う指導	不法投棄に伴う苦情等による調査及び必要に応じ、愛知県警察と連携を図り指導	・不法投棄：256か所 ・不法投棄物回収数：442個				④	⑤			
			ポイ捨て・ふん害防止事業	地域の美化活動等を通じて、ポイ捨て・ふん害などに対する市民モラルの向上を図る	・環境美化推進運動（ふれあい緑道でのポイ捨て・ふん害防止早朝啓発） ・地域環境美化事業（学校、事業所等の美化活動の支援） ・ポイ捨て・ふん害防止啓発事業（落合公園等の清掃活動） ・グリーン大作戦 参加者：72,970人				④	⑤			
			安全で安定的な処理施設の確保										
			クリーンセンター施設再整備事業	廃棄物処理の継続性を維持するために、施設の老朽化対策及びごみ処理施設の規模の適正化を目的に、焼却設備などの主要な機器の大規模整備（第2工場の基幹的設備改良工事）を実施（2022年度～2026年度）	詳細設計、仮設工事、機器製作		②		④		温対		
			ごみ処理施設(廃熱利用)	焼却の廃熱を利用した廃熱ボイラによる高効率発電、場内余熱利用、場内冷暖房、場外余熱利用等に有効利用	余熱利用熱量：598,805.5 GJ ・場内利用：540,858.3 GJ ・場外利用：2,445.1 GJ ・発電量：25,137,530 kWh ・売電量：9,677,598 kWh		②		④		温対		
			ごみ処理施設整備（資源化）	リサイクルプラザで鉄、アルミ、金属缶、ガラスびん、ペットボトルの資源化	・飲料缶：190.38t ・ガラスびん：1,450.46t ・ペットボトル：850.09t 計：2,490.93t		②		④		温対		
			災害廃棄物の適正処理										
			春日井市災害廃棄物処理計画	災害時に発生する廃棄物の迅速かつ適正な処理を図る	・2019年3月策定 ・「環境カレンダー」等で周知啓発				④				
			環境目標5 都市環境・生活環境										
			1 環境と人にやさしいまちづくり										
			快適な生活のための基盤整備										
			高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業	高齢者を始めとするあらゆる世代の住民の外出機会を増加させ、自動車に過度に依存せず暮らすことができる持続可能なまちを目指し、新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックスを模索	・ラストマイル自動運転送迎サービス運行（通年） ・乗合タクシー実証実験（通年） ・MaaSアプリ実証実験（通年） ・モビリティポート実証実験（R6.1～R6.3）		②		⑤		温対		
			地区計画	①地区計画届出書の審査 ②新規地区の都市計画決定の手続き	①松河戸地区始め7地区 届出実績：56件 ②1件 高森台テラス地区			③	⑤		生物		
			都市計画法	都市計画法に基づく市街化調整区域の開発許可	開発許可：16件			③	⑤		生物		
			立地適正化計画の推進	①立地適正化計画に基づく届出書の受理 ②立地適正化計画の見直し	①届出実績 7件 ②あり		②	③	⑤		温対 生物		
			多様な交通手段が選択できるまちづくり										
			かすがいシティバス（はあとふるライナー）	公共交通空白地域における昼間の時間帯の高齢者の移動手段の確保及び環境負荷の軽減のため、かすがいシティバスを運行	・路線数：4路線 1区域 ・乗車人数：320,551人		②		⑤		温対		
			公共交通ネットワークの充実	春日井市の特性にあった交通ネットワークについて検討	・春日井市地域公共交通会議を2回開催		②		⑤		温対		
			自転車レーン・歩道の整備	自転車通行帯の設置 道路の歩道部における段差の切り下げ、歩道の整備	自転車レーン 大手町外1町 L=800m 下市場町 L=900m 如意申町外2町 L=1,500m		②		⑤		温対		
			通勤バスの共同利用に対する助成	事業者が共同で行う通勤バス等の通勤支援業務委託に対して助成金を交付	助成金交付：0件		②		⑤		温対		
			鉄道駅周辺整備	歩道・鉄道駅などのバリアフリー化の推進及び駅周辺の都市拠点機能の向上	名鉄春日井駅周辺整備：鉄道事業者等関係者協議 自由通路の都市計画決定		②		⑤		温対		
			鉄道駅周辺駐輪場における自転車整理	鉄道駅周辺の駐輪場において自転車の整理をするともに、駐輪マナーのエフ付け（注意ふた）により、注意喚起	市内鉄道10駅周辺で実施		②		⑤		温対		
			鉄道駅周辺の駐輪場・駐車場の整備	鉄道駅周辺の駐輪場・駐車場を整備	無料の神領駅東バイク駐車場始め4か所を閉鎖し、新たに有料のJR神領駅南口自転車等駐車場を整備		②		⑤		温対		
2 良好な生活環境の確保													
			公害防止・環境負荷の低減										
			春日井市開発事業に係る紛争の予防及び調整に関する条例等に基づく事前協議	開発指導・開発抑制の検討 ①中高層建築物の建築 ②廃棄物処理施設の設置 ③大規模開発行為	① 1件 ② 1件 ③ 0件				④	⑤			

環境目標		施策の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等						
				春日井市公共建築物シックハウス対策指針	公共建築物の建設及び管理に当たり、新設または改築時等に室内空気中の化学物質濃度を測定	・新設：消防署 外2施設 ・改修：清掃事業所 外2施設					⑤		
				春日井市産業廃棄物処理施設等の設置に係る事前協議に関する要綱に基づく事前協議	廃棄物処理施設等の設置に係る開発指導・開発抑制の検討	0件				④	⑤		
				春日井市生活環境の保全に関する条例に基づく事前協議	工場など固定発生源対策の推進	環境保全計画審査：19件（新設：15件 増設・改築：4件）					⑤		
				春日井市飛行場周辺対策市民協議会	春日井市飛行場周辺対策市民協議会による要望活動等（騒音の低減、安全飛行の徹底、周辺環境対策の充実）	県内要望1回、大阪要望1回、東京要望1回、申し入れ1回					⑤		
				河川浄化モデル地区	自発的に河川の水質監視、水質汚濁防止の活動をする地区を指定し、地域の住民による河川浄化活動を促進 生活排水クリーン推進員による生活排水の汚れを減らす啓発等	・モデル地区：16団体 ・生活排水クリーン推進員：16人	①		③		⑤	生物	
				環境保全基礎講習会	市内事業者を対象として、公害関係法令の概要などを説明し理解を深め、公害の未然防止を図る	2023年度実績なし		①		③	④	⑤	生物
				環境保全協定	環境の保全のため特に必要があると認める場合に事業者と環境保全協定を締結	・締結：0事業所 ・廃止：0事業所 ・覚書締結：1事業所 ・総締結事業所：92事業所			②	③	④	⑤	温対生物
				環境保全協定等による指導	環境保全協定締結事業場等の立入調査、排出状況の測定結果報告により、協定基準の遵守等を指導 環境保全協定に基づく事前協議を実施	・立入調査：51件 ・事前協議：3件 ・自主測定結果確認：78件			②	③	④	⑤	温対生物
				学習等供用施設整備	航空機騒音対策の促進として、学習等供用施設を整備	学習等供用施設の改修工事：3か所					⑤		
				機能回復工事	航空機騒音対策として、飛行場周辺の対象区域において、1982年3月30日以前に建築された住宅で防音工事を実施する場合、工事費を助成	防音工事（未実施）0件、防音工事（告示日後）0件、機能回復（未実施）工事0台、機能回復（告示日後）工事1台、再更新工事23台、再更新（告示日後）2台、再々更新16台					⑤		
				光化学スモッグ、PM2.5情報の周知	光化学スモッグ注意報等情報、PM2.5注意喚起情報を関係機関に配信	・光化学スモッグ情報：予報発令2回 ・PM2.5注意喚起情報：発令なし					⑤		
				公共用水域水質異常時の対応	河川水質異常発生時、状況調査や発生源指導等、適切に対応	水質関係公害苦情：21件			③		⑤	生物	
				航空機騒音測定	空港周辺における航空機騒音を測定	・常時測定：花長学習等供用施設（春日井市実施）環境基準不適合、味美ふれあいセンター（愛知県実施）環境基準不適合 ・短期測定：味美上ノ町学習等供用施設環境基準適合、勝川南部学習等供用施設環境基準適合					⑤		
				酸性雨調査	市内の酸性雨の状況を把握するため酸性度を測定	分析項目：pH（平均値：4.85）		②			⑤	温対	
				事業所立入（悪臭・大気）	粉じん発生施設関係工場、悪臭関係工場等の立入を行い、規制基準の遵守等を指導	・粉じん発生施設に関する事業場立入：15件 ・粉じん発生施設以外の大気汚染に関する事業場立入：16件 ・悪臭に関する事業所立入：36件					⑤		
				事業所立入（水質）	特定事業場等の立入、水質検査を行い、規制基準の遵守等を指導	立入調査：130件（内水質検査：85件）					⑤		
				事業所立入（騒音・振動）	特定工場等の立入りをを行い、規制基準等の遵守を指導	・騒音関係立入調査：69件（特定工場8件、その他の事業場34件、建設作業21件） ・振動関係立入調査：0件（建設作業0件）					⑤		
事業所立入（土壌・地下水）	特定事業場等の立入りをを行い有害物質の適正管理、地下浸透の防止を指導	特定事業場立入：28件					⑤						
自動車交通騒音、道路交通騒音調査	道路に面する地域の騒音に係る環境基準の達成状況及び自動車騒音の要請限度の超過状況調査	・環境基準適合率（市内主要道路12路線21区間の住居等10,075戸）：昼間99.8%、夜間99.6% ・要請限度超過状況調査（市内主要道路10か所）：10か所全て要請限度適合					⑤						
製紙工場周辺地域連絡会	住民、工場及び市が一体となり周辺地域の環境向上を図る	1回開催					⑤						

環境 目標	施策 の柱	施策	事業名	事業内容	2023年度	関連する環境目標等					
			騒音指導（近隣騒音）	近隣騒音苦情に係る発生源の立入調査を行い規制基準等の遵守を指導	立入調査：12件（営業騒音、家庭生活騒音）				⑤		
			大気汚染調査	測定局（下津町、高森台）において、大気中の大気汚染物質の濃度を測定し、市内の大気汚染状況を把握	・環境基準適合項目：二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素 ・環境基準不適合項目：光化学オキシダント				⑤		
			大気汚染調査（ダイオキシン類等大気汚染物質）	市内の大気中のダイオキシン類及び揮発性有機化合物濃度を測定	・大気中ダイオキシン類（出川保育園と勝川南部学習等供用施設の2地点）：2地点とも環境基準に適合 ・大気中揮発性有機化合物（市役所始め4地点）：各地点、項目すべて環境基準の値を下回っている		③		⑤	生物	
			大気・水環境等の未規制化学物質等の情報収集	大気及び水環境における未規制化学物質等の規制に向けた情報を収集中	未規制化学物質についての情報収集				⑤		
			大規模建築物等の新築等の届出	都市景観基本計画に基づき、大規模建築物等に対し、魅力ある景観形成を図るために助言・指導	大規模建築物等の届出：9件（都市景観アドバイザーへの相談：7件）				⑤		
			大規模小売店舗立地法に基づく市の意見提出	大規模小売店舗立地法に基づき周辺地域の生活環境配慮のため、市としての意見を県に提出	意見提出：1件				⑤		
			地下水水質調査	水質汚濁防止法に基づき定められる測定計画に基づき、概況調査（市内を5kmメッシュに区分したメッシュから新たな調査井戸を選定）を1地点で実施 また、汚染判明時には汚染井戸周辺地区調査を実施するとともに、地下水汚染の継続的な監視や定期モニタリング調査を実施	測定計画に基づく調査 ・概況調査：下津町（1井戸） ・定期モニタリング調査：牛山町始め26井戸 ・汚染井戸周辺地区調査：坂下町1井戸		③		⑤	生物	
			届出審査（悪臭・大気）	大気汚染防止法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく一般粉じん発生施設等に係る届出審査、同県条例に基づく悪臭関係工場の届出審査	・大気汚染防止法に基づく一般粉じん発生施設届出審査：8件 ・県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく粉じん発生施設届出審査：10件 ・県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく悪臭関係工場等届出審査：18件				⑤		
			届出審査（水質）	水質汚濁防止法の届出審査により、未然防止を図る	水質汚濁防止法に基づく届出審査：81件		③		⑤	生物	
			届出審査（騒音・振動）	騒音規制法、振動規制法、県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく届出審査により、未然防止を図る	・騒音規制法に基づく届出審査：40件 ・振動規制法に基づく届出審査：27件 ・県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく届出審査（騒音関係33件、振動関係44件） ・特定建設作業実施届出審査：1,465件				⑤		
			届出審査及び事前協議（土壌）	土壌汚染対策法、県民の生活環境の保全等に関する条例、春日井市土壌汚染対策法施行細則に基づく届出審査、春日井市生活環境の保全に関する条例又は春日井市土砂等の埋立て等に関する条例に基づく事前協議により、未然防止を図る	・土壌汚染対策法に基づく届出審査：23件 ・県民の生活環境保全に関する条例に基づく届出審査：22件 ・春日井市土壌汚染対策法施行細則に基づく土地利用状況の報告：30件 ・市生活環境の保全に関する条例に基づく届出審査：1件 ・市条例に基づく土地利用状況報告：2件 ・市土砂等の埋立て等に関する条例に基づく届出審査：178件				⑤		
			土壌汚染拡散措置の実施	汚染の拡散を防ぐための応急措置及び恒久措置の実施を指導	土壌汚染報告：1件				⑤		
			野焼き等焼却行為禁止の啓発	広報、パンフレット、ホームページにより野焼き禁止を啓発行為者に対して指導を実施	・苦情申立による発生源者の指導：58件 ・広報、パンフレット配布、ホームページの掲示により、野焼き等焼却行為禁止を啓発		②		⑤	温対	
			非常災害時井戸水提供の家指定	指定及び新規の井戸を持つ世帯を対象に、大地震等の非常災害時に短期間井戸水を生活用水として使用するための簡易な水質検査を実施し、適合とされた世帯を「非常災害時井戸水提供の家」として指定	・検査時期：10月・11月 ・検査件数：36件（更新28件、再検査4件、新規4件） ・登録件数：36件（適合30件、不適合等6件）			③		⑤	生物
上下水道の維持管理											
			下水切替普及活動	①公共下水道供用開始区域内の未接続家屋所有者等に対する直接訪問による公共下水道への早期切替の依頼 ②公共下水道への切替を啓発	①依頼：2,915件 ②「下水道の日」関連行事として、パネル展示等による啓発 実施期間：9/5～9/11			③		⑤	生物
			公共下水道の整備	公共下水道の計画的な整備・維持管理	整備：14ha（普及率69.8%）		②			⑤	温対
			排水設備審査・事業所立入	公共下水道区域における排水設備確認・完了検査及び事業所の立入・水質検査を行い、下水道の排除基準の順守等を指導	・申請：894件 ・検査：878件 ・立入調査：42件 ・指導：16件			③		⑤	生物
合併処理浄化槽への転換促進											
			合併処理浄化槽の設置補助	生活排水による公共用水域の水質汚濁を減少させる目的で、公共下水道事業認可区域外で個人の専用住宅に合併処理浄化槽を設置する場合、工事費用の一部を補助	・補助基数：210基 ・補助金額：56,972千円 ・広報、パンフレット配布、ホームページの掲示等により、合併処理浄化槽設置促進を啓発		②			⑤	温対